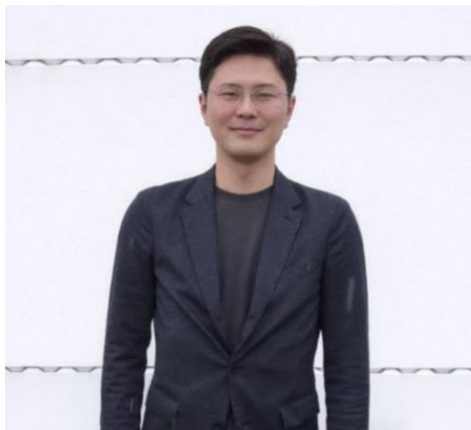


# 先進的な取組で法人経営の発展を目指す！

あきたで生きる～秋田の地域資源を活用し、秋田で暮らし、秋田を活かす取組～



美郷町鎌田  
株式会社 やりだ  
代表取締役 田口 慶明

## 経営概況

経営面積 | 37ha  
作物 | 水稲、大豆、枝豆、セリ  
販売先 | 県内販売事業者、JA など  
社員 | 代表取締役ほか3名  
パート1名

農業未経験者にもかかわらず前職をやめて 30 才で農業法人へ就農し、8年後には法人の代表になった田口慶明さん。組織を株式会社化し、水稲の乾田直播栽培や輸出用米など先進的な取り組みや、JA と共同で子供達の食育事業も検討しながら会社の安定経営を目指しています。

## ▶ きっかけ

農業とはまったく接点のない仕事をしてきた慶明さんですが、祖父が地域にある農業法人の代表を努めていました。法人は年々役員の高齢化が進み、組織の存続が危ぶまれていました。そういった現状を目の当たりにして組織を立て直そうと決心し、2018 年に 30 才で就農しました。



田植機を改造したスプレーヤーで畦畔の除草剤散布作業 ●

管理などの詳細な情報を収集しながら、実践し、こつこつと経験を積み重ねてきました。

2025 年 3月に農業法人の代表理事に就任しました。経営に携わるようになり、組織の決定権が分散し、物事がスムーズに進んでいないと感じ、1年後の 2026 年 3月に株式会社へ組織変更し、スピード感を持った運営にシフトしました。



ドローンで農業散布 ●

また、輸出用米にも取り組むことで流通業者と話を進めています。

2年前からハウスを整備し、地下水を利用したセリの栽培にも取り組んでいます。



近くの認定こども園の畑での作業 ●

## ▶ これから

将来的に経営面積が増加することを見据えて、乾燥・調製施設を整備するため、国の事業に応募しています。

また、JA 青年部の役員として、近くのこども園で野菜栽培を通じて子供達への食育活動を行っています。今後は地元の JA と共同で食育事業を展開したいと考えています。

(●印写真: やりだ提供)

## ▶ 取組

農業の経験が全くなかったことから、祖父から稲作のノウハウを得たいと思っていました。しかし、昔気質の祖父からは細かいことは教えてもらえず、SNS などを駆使して作業 や栽培

昨年から試験的に水稲の乾田直播栽培に取り組んでおり、単収は高くあませんが、作業の省力化や資材経費の削減を考慮し、令和8年産米から取組面積を大幅に拡大する予定です。

